

いっそうの少人数学級推進と教育予算の増額を求める意見書

学校現場では、新学習指導要領や GIGA スクール構想への対応、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを実現するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。さらには教員不足も深刻で、子どもたちの学びを保障しづらい状況が生じている現状です。ゆたかな学びや学校の「働き方改革」を実現するためには、抜本的な定数改善計画に基づく教職員定数の改善が不可欠です。いっそうの少人数学級推進と教育予算の増額を求めるものです。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるよう、2024年度予算編成の件につき、下記の措置を講じられるよう要請します。

記

- 1 どの子にもゆきとどいた教育をするために、いっそうの少人数学級推進と教育予算の増額をすること。また、複式学級の学級定員を引き下げること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年6月28日

衆議院議長 あて
参議院議長
内閣総理大臣
財務大臣
文部科学大臣
総務大臣

飯山市議会議長 渋川 芳三